2. 住宅改修が必要な 理由書の標準様式(案) について

# ①住宅改修の理由書(案)について

# 1. 住宅改修における事前申請制度の導入

保険給付の対象となる住宅改修については、現行、事前に支給の申請書を提出することが法令上一律に義務づけられていないが(介護保険法施行規則第75条)、悪質な事業者が保険給付として適当でない住宅改修を行い、費用が支給されないことで利用者との間でトラブルが生じていることや、利用者の状態にあった住宅改修が適切に行われるよう、質の向上が求められている。

このため、住宅改修については、事後の審査とともに、あらかじめ市町村に申請書を届け出て、その審査を受ける事前申請制度を導入することとしている。(省令改正)

### 2. 理由書(案)について

住宅改修が必要な理由書については、平成16年度の研究事業の中で、専門家による研究会(介護保険制度下での住宅改修事業の質の向上に関する検討を行うための検討委員会)において、検討したところであり、今般、別添のとおり、作成したところである。今後、福祉用具・住宅改修評価検討会に報告の上、パブリックコメントを実施後、年内に全国ベースの理由書を定める予定である。

## 3. 様式の活用について

本理由書(案)については、「平成16年度介護保険制度下での住宅改修事業の質の向上に関する調査研究事業報告書」に掲載しているところであり、本年6月に(社)シルバーサービス振興会より、都道府県・指定都市を始め、人口3万人以上の市区町村の954の地方自治体あてに、配布しているところである。今後、パブリックコメントを通じて定めることとしていることから、その他の地方自治体及び関係者等に対しても情報提供をお願いするとともに、広く活用いただきたい。

#### 事前申請における住宅改修費の支給の流れ(イメージ)(案)

#### 住宅改修についてケアマネジャー等に相談



#### 住宅改修費の支給の申請

・利用者は、支給申請書等を保険者へ提出し、保険者は提出された申請書等について審 査する。

#### (提出書類)

- 〇支給申請書
- 〇住宅改修が必要な理由書
- ○工事費見積もり書
- 〇住宅の所有者の承諾書(住宅改修を行った住宅の所有者が当該利用者でない場合)



## <u>施 エ → 完 成</u>



# 住宅改修費の支給

- ・利用者は、工事終了後領収書等を保険者へ提出し、保険者は、利用者の心身の状況、 住宅の状況等を勘案して必要と認められる場合に限り住宅改修費を支給する。 (提出書類)
  - ○住宅改修に要した費用に係る領収書
  - 〇工事費内訳書
  - 〇住宅改修の完成後の状態を確認できる書類(便所、浴室、廊下等の箇所ごとの改修前及び改修後それぞれの写真とし、原則として撮影日がわかるもの)

# 介護保険制度下での住宅改修事業の質の向上に関する検討 を行うための検討委員会について

#### 1. 調査研究の目的

介護保険の施行後、住宅改修の利用が伸びているが、適切な住宅改修の活用により利用者の自立支援の重要性が指摘されていることから、居住環境整備の時間経過に伴う自立支援に対する効果を分析するとともに、住宅改修の目的、及びその効果の判定やフォローアップが可能な「住宅改修が必要な理由書」の記載内容について、フィールド検証を踏まえ調査・検討を行うこととした。

#### 2. 研究実施主体

社団法人 シルバーサービス振興会 平成16年度「老人保健事業推進費等補助金」により実施

#### 3. 委員名簿(順不同/敬称略)

委員長 野村 歡 日本大学理工学部建築学科教授

委員 加島 守 医療法人社団福寿会リハビリテーション事業部

桑折良一 横浜市福祉局高齢福祉部高齢在宅支援課在宅支援課長

柴田純和 世田谷区総合福祉センター成人係

鈴木 晃 国立保健医療学院建築衛生部健康在宅室長

谷口昌宏 全国介護支援専門員連絡協議会

日並陽子 北九州市小倉北区役所保健福祉課保健福祉部相談係

村井千賀 石川県リハヒ・リテーションセンター指導課

#### 4. 報告書

平成17年6月に報告書を取りまとめ。

「住宅改修が必要な理由書」については、パブリックコメントを経て、 全国ベースの理由書として定める予定。 -

②住宅改修が必要な理由書(案)

#### 住宅改修が必要な理由書(案) P1

	基本情報> 被保険者 番号				年齢	Ä	裁	生年月日	明治 大正 昭和	00年(	O月OI	日 性別	□男	口女			現地確認日	平成	年	月	B	作成日	平成	年	月	B 
利用者	被保険者 氏名				要介護(該当)	認定に〇)	要	支援 ・	要介記	隻 1	• 2	• 3	• 4	• 5	作成者	141.44	所属事業所 (作成者が介護支援専門 員でないとき)	3							<del>-</del>	
	住所				 				- <u></u>								氏名 連絡先									
保険者	確認日 氏 名	平成	年	月	 評価欄	<del></del>						<u>, , , , , , , , , , , , , , , , , , , </u>	A11		 											
	総合的状況	.>										-			 					. :		福祉用		_		
利	用者の身体	本状況																				改修 ●車いす (車いす付属 ●特殊寝台	後の想象		<u>牧修前</u> □	改修(i
(3	介護状》 主な介護者				 				-					4	 							(特殊寝台付 ●じょく瘡予防 ●体位変換器 ●手すり ●スコープ ●歩行器	·用具	t)		
作	主宅改修に 用者は日常	より、																	-			●歩行補助つ ●痴呆性老人 ●移動用リフト (つり具の部 ●腰掛便座 ●特殊尿器	徘徊感知権 、 分を除く)	機器		
	どう変えた																					● 入浴補助用 ●簡易浴槽 ● 移動用リフト ● その他 (		部分		

#### 住宅改修が必要な理由書(案) P2

<P1の「住宅改修により、日常生活をどう変えたいか」を踏まえて、①改善しようとしている生活動作②具体的な困難な状況③改修目的・期待効果④改修項目 を具体的に記入してください。> ①改善をしようと ② ①の具体的な困難な状況(…なので ③ 改修目的・期待効果をチェックした上で、 ④ 改修項目(改修箇所) 改修のコメント(・・することで・・が改善できる)を記入してください している生活動作 ➡ ··で困っている)を記入してください **できなかったことをできる** □ 手すりの設置 □ トイレまでの移動 ようにする □ トイレ出入口の出入 □ 転倒等の防止、安全の確保 (扉の開閉含む) □ 動作の容易性の確保 □ 便座への着座・車いす □ 利用者の精神的負担や 等からの移乗 不安の軽減 □ 衣服の着脱 □ 介護者の負担の軽減 □ 排泄時の姿勢保持 □ その他 □ 後始末 □ その他( □ できなかったことをできる □ 浴室までの移動 □ 衣服の着脱 ようにする □ 段差の解消 □ 浴室出入口の出入 □ 転倒等の防止、安全の確保 □ 動作の容易性の確保 (扉の開閉含む) □ 浴室内での移動 | 利用者の精神的負担や 浴 | | 浴槽の出入 不安の軽減 □ 介護者の負担の軽減 □ 洗い場での姿勢保持 □ その他 (洗体・洗髪含む) □ 浴槽内での姿勢保持 2 □ 引き戸等への扉の取替え □ その他( できなかったことをできる □ 出入口までの屋内移動 □ 上がりかまちの昇降 ようにする □ 車いす等、装具の着脱 | | 転倒等の防止、安全の確保 □ 履物の着脱 □ 動作の容易性の確保 □ 利用者の精神的負担や □ 出入口の出入 □ 便器の取替え 不安の軽減 (扉の開閉含む) □ 出入口から敷地外までの □ 介護者の負担の軽減 □その他 屋外移動 □ その他( できなかったことをできる □ 滑り防止等のための床材の変更 ようにする □ 転倒等の防止、安全の確保 □ 動作の容易性の確保 その他の 他の □ 利用者の精神的負担や 不安の軽減 □その他 □ 介護者の負担の軽減 □その他

#### 住宅改修が必要な理由書(案) P1 (記入要領)

<	(基本情報>	>																					
	被保険者番号				ź	手齢 ま	<b>选</b> 生年月日	明治 大正 〇〇 昭和	〇年〇月〇	日 性別	□男	口女			現地確認日	平成	年	月日	日 作成	t日	<b>F</b> 成	年	1 8
利用者	被保険者氏名				3	要介護認定 該当に〇)	要支援・	要介護	1 • 2	• 3	• 4	• 5	ŕ	1 資	所属事業所  【格 (作成者が介護支援専門 員でないとき)								
121	住所						,						F		氏名								-
保険者	確認日	平成	年	月日	——————————————————————————————————————	ī																	
者	氏名				檌																		
_	総合的状況	₹>																					
				i i i i i i i i i i i i i i i i i i i	<del>Ma (MMR Middles</del> da	materialis di ministra de la compania								cacondivada			4			具の現状 を後の想象			兄と 改修後
	利用者の身質	体状況													助作に関する身 5法(自立歩行・				事中いす		<u> </u>		
'	(17)3 [1 47 2]	17. 01/00					つたい歩	き・介助	步行·步	行器	利用な	ど)を記	述 9	うる	·				(車いす付点 ●特殊寝台/			1	
											1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 100			MAY ALANSIS			many (Maria da Maria)		(特殊事	改修前			
(	介護状 (主な介護者					$\overline{}$	家族の状	況、主な	:介護者	を含む	介護物	犬況を記	2述	する	5.				●じょく瘡予! ●体位変換! ●手すり ●スロープ	想定されています。用具のを確認	利用	状汤	
					***************************************					······································	***************************************			********					●歩行器			= 1	
																			●歩行補助で ●痴呆性老力 ●移動用リフ	人徘徊感知机	器		
	住宅改修に  用者は日常 どう変えた	常生活を						上活をど	う変えた	いと思	思ってい				社会参加な何を希望して				(つり具の音 ●腰掛便座 ●特殊尿器 ●入浴補助月				
	_,_,,																	J	●簡易浴槽 ●移動用リフ その他	トのつり具き )	3分		
L			1	-	*********	***************************************	***************************************						eneranicaeneri/A	prantients/men		***************************************	······································	Market Committee of the		******************	***************************************	-	Carried Co.

#### 住宅改修が必要な理由書(案) P2 (記入要領)

<P1の「住宅改修により、日常生活をどう変えたいか」を踏まえて、①改善しようとしている生活動作②具体的な困難な状況③改修目的・期待効果④改修項目 を具体的に記入してください。> の改善をしようと ② ①の具体的な困難な状況でなので ② 改修目的・期待効果をナェックした上で、 改修項目(改修箇所) ··で困っている)を記入してください 改修のコメント(・・することで・・が改善できる)を記入してくたさい している生活動作 ☑ 手すりの設置 □ できなかったことをできる □ トイレまでの移動 ようにする │□ トイレ出入口の出入 | 転倒等の防止、安全の確保 (扉の開閉含む) 動作の容易性の確保 □ 便座への着座・車いす □ 利用者の精神的負担√ 等からの移乗 不安の軽減 ・様々な角度から検討し、決 口介護者の外介②を記入し、現状の問題点をふまえた上 /現状の改善を必 /生活動作で困っていること、問 定された改修内容の項目を 要とする動作につ □ その他 で、改修目的の項目をチェックする。各行為の 題点について、その状況や介 チェックし、詳細な内容を記 いてレ点チェック 困難事項を改善するために、どのような改修 護の現状を具体的に記述す 一 できなか・ 述する。 をする。 を行うのか、その方針を記述する。 る。 ようにする ・改修箇所は、場所だけでは 今回改修の対象 | 転倒等の なく「手すり」なら、「便器横 でない項目にはレ ・改善方法は「手すり設置」や「段差解消」という表現 改修案の検討の際は全ての行為に 町 動作の容 壁面」等その取付箇所まで ではなくてもよい。「つかまれる所を」「つまずかない工 点チェックする必 ついてチェックが必要だが、理由書 1 利用者の 夫」「立ち上がりの支えを」などの表現でも良い。 記述する。 要はない。 では改善しようとする行為に限定し 不安の軽 一つの改修項目が複数の目的のために行われる場 たコメントでよい。 合はまとめて記述してもよい。 □介護者の ・生活のどの場面、どの動作が利用 ・具体的手段については当事者はもちろん、施工者や (洗体・洗髪含む) ■ その他 者・介助者にとって大変なのか、動 専門家と一緒に考えることが望ましい。 □ 浴槽内での姿勢保持 作の流れに沿って一つずつ見極める Ń Ñ こと。寝たきりならば「座位が保てる」 □ 引き戸等への扉の取替え □ その他( か」、歩行ができれば「段差を越えら □ 出入口までの屋内移動 一 できなかく れるか」などについても記入する。 ようにする □ 上がりかまちの昇降 ・①のレ点評価と②のコメントの両方 **■** 転倒等の防止、安全の確 □ 車いす等、装具の着脱 を合わせて利用者の状況が伝わる □ 履物の着脱 動作の容易性の確保 ようにする。 □ 便器の取替え | 利用者の精神的負担や □ 出入口の出入 ・移動について各行為(排泄・入浴・ 不安の軽減 (扉の開閉含む) 外出)に共通する内容は、たとえば □ 介護者の負担の軽減 □ 出入口から敷地外までの 「排泄」の欄のみに記入し、各行為の □ その他 屋外移動 欄に重複して記入する必要はない。 □ その他( 🛍 滑り防止等のための床材の変更 できなかったことをできる ようにする 転倒等の防止、安全の確保 動作の容易性の確保 利用者の精神的負担や 🔲 その他 不安の軽減 介護者の負担の軽減 】その他

# 住宅改修が必要な理由書(案) P1 (記入例①)

_	其	木	犗	報	`
`	ᅭ	4	ΙĦ	+1X	_

	被保険者番号	000000	年齢 72	2 歳	生年月日	明治大昭和	〇〇年〇月〇日	性別	口男	省女
利用者	被保険者氏名	介護 花子	要介護認! (該当にC		要支援 •	要介記	護() ・ 2 ・	3	• 4	• 5
	住所	〇〇市〇〇区〇〇町1	-2-3							

		現地確認日	平成〇〇年〇月〇日	作成日	平成〇〇年〇月〇日				
作		所属事業所		〇〇事業	所				
成者	資格	(作成者が介護支援専門 員でないとき)							
		氏名	00 00						
		連絡先	00-0000-0000						

保     確認日     平成〇〇年〇月〇日     評価       6		·			<del></del>	 	 	·····	 	 	_
│険├────────────────────────────────────	一個	確認日	平成〇〇年〇月〇日	重平							
者 氏名 〇〇 〇〇	除										
	者	氏名	00 00	欄							

<総合的状況>

44,0 22 112 213		福祉用具の現状の	利用状法	況と
		改修後の想定	改修前	
	右大腿骨頸部骨折により人工骨頭置換術術後。  平成16年6月に廊下で転倒し入院。人工骨頭置換術後、6月30日に退院。	●車いす		
利用者の身体状況		(車いす付属品を含む)		
:	EPHANCE OF THE TIME PERCONSTRUCTION OF THE TENT OF THE	●特殊寝台		
		(特殊寝台付属品を含む)	_	
		●じょく瘡予防用具		ᆸ
   介護状況	  骨折前より長男夫婦と同居しており、排泄と入浴の介助については主に長男の妻が行っている。	●体位変換器		
「最ん况   (主な介護者含む)	日中は、本人しかいない場合もある。	●手すり		
(工)6月股日日日/		●スロープ		닏ㅣ
		●歩行器		님
		●歩行補助つえ		님
		●痴呆性老人徘徊感知機器 ● 称		片
		●移動用リフト	🏳	Ы
	  長男の妻の介助と見守りにより何とか生活できているが、生活動作や家事(調理)なども含め自分でできることはしていきたい。	(つり具の部分を除く) ●腰掛便座		
住宅改修により、	できることは自分で行っていきたいとの思いを支援していく。	●特殊尿器		
利用者は日常生活を	家屋が古く段差が多いために、住宅改修を行い、安全に生活できるようにしていく。	●入浴補助用具		
どう変えたいか	玄関にはすでに手すりと踏み台があり、一人で上がりかまちの昇降ができるので、今回は排泄と入浴動作及び、調理動作につい	●簡易浴槽		
	て改善したい。 できればお風呂には毎日入りたい。	●移動用リフトのつり具部分		
		●その他		
		( )		
		, ,		

#### 住宅改修が必要な理由書(案) P2 (記入例①)

N

<P1の「住宅改修により、日常生活をどう変えたいか」を踏まえて、①改善しようとしている生活動作②具体的な困難な状況③改修目的・期待効果④改修項目 を具体的に記入してください。> ② ①の具体的な困難な状況(…なので ③ 改修目的・期待効果をチェックしたうえで、 ①改善をしようと ④ 改修項目(改修箇所) 改修のコメント(…することで …が改善できる)を記入してください ··で困っている)を記入してください している生活動作 🖶 ☑ 手すりの設置 ▼ 7 できなかったことをできる 1 トイレまでの移動 ようにする □トイレ出入り口の出入り 廊下の移動経路 |廊下の移動が一人で(「見守り」なしで)行える ・居室からトイレの移動は、杖歩行だが杖を立てかけ ☑ 転倒等の防止、安全の確保 (魔の開閉含む) ように、連続した手すりを設置する。 □ 動作の容易性の確保 | 便座への着座・車いす る適切な場所がなく、また、歩行バランスも若干不 便器横壁面 手すりの高さについては実際に歩行してもらって 安定で「見守り」が必要。 | 利用者の精神的負担や 等からの移乗 決める。 泄 不安の軽減 |便座からの立ち上がりの際に、支持する所がない □ 衣服の着脱 一人で便座からの立ち上がりができるように、つ 脱衣室 ため、介助が必要。 介護者の負担の軽減 □ 排泄時の姿勢保持 かまれるものなど工夫する。 □ その他 □ 後始末 浴室内の移動経路 □ その他( できなかったことをできる | 浴室までの移動 ようにする □ 衣服の着脱 🎦 段差の解消 「▼ 転倒等の防止、安全の確保 □ 浴室出入り口の出入り |居室から浴室の動線は「排泄」と同じ。 居室から浴室への移動は「排泄」と同じ。 動作の容易性の確保 浴室内での移動の安全を確保するために、移動の (属の開閉含む) 廊下3cmかさ上げ 浴室内では杖は使えず、つかまる場所がないた □ 利用者の精神的負担や 経路に手すりを設置。 入 浴室内での移動 め、移動に不安がある。 浴槽を浅いものに取替え、バスボードを併用して 浴 | 2 浴槽の出入り 不安の軽減 浴槽をエプロン高40cm、深さ50cmのものに取り替え 浴槽の50cmの縁高を一人でまたぐことができず、 1 介護者の負担の軽減 一人で浴槽への出入りができるようにする(ただ □ 洗い場での姿勢保持 介助を必要としている。 し「見守り」は必要か)。 □その他 (洗体・洗髪含む) □ 浴槽内での姿勢保持 □ 引き戸等への扉の取替え □ その他( □ できなかったことをできる □ 出入り口までの屋内移動 □ 上がりかまちの昇降 ようにする □ 転倒等の防止、安全の確保 □ 車いす等、装具の着脱 動作の容易性の確保 □ 履物の着脱 □ 便器の取替え □ 利用者の精神的負担や □ 出入り口の出入り 不安の軽減 (扉の開閉含む) □ 介護者の負担の軽減 □ 出入り口から敷地外までの □ その他 屋外移動 □ その他( □ 滑り防止等のための床材の変更 できなかったことをできる 調理 台所での移動、姿勢保持、杖でなんとか台所へは行けるが、調理は杖なしで 杖なしで長時間の作業が可能なように、車いす作 ようにする |長時間立位作業をしなければならず、現状では困 | 12 転倒等の防止、安全の確保 業を可能とするため、廊下と台所との床段差を解 消する ▼動作の容易性の確保 □ 利用者の精神的負担や o. □ その他 不安の軽減 他行 □ 介護者の負担の軽減 の為 □ その他 動、

# 住宅改修が必要な理由書(案) P1 (記入例②)

<1	基本情報>										
	被保険者番号	000000	年齢	76 歳	生年月日	明治 大正 昭和	〇〇年	〇月〇日	性別	口男	省女
利用者	被保険者氏名	保険 花子		護認定(に〇)	要支援・	要介語	隻 1	⊘₂ ·	3	• 4	• 5
	住所	〇〇市〇〇区〇〇町4	<b>1</b> –5–6								

		現地確認日	平成〇〇年〇月〇日	作成日	平成〇〇年〇月〇日				
作		所属事業所		〇〇ケアプラン・	センター				
作成者	資格	(作成者が介護支援専門 員でないとき)							
		氏名	00 00						
		連絡先	00-0000-0000						

保	確認日	平成〇〇年〇月〇日	  評	
保険		**************************************	価	
者	氏名	00 00	欄	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·

<総合的状況>				
CHO II F3 VVVV		福祉用具の現状の	利用状況	ᄰᅩ
	  脳梗塞、両変形性膝関節症。	改修後の想定	改修前	改修後
		●車いす		
利用者の身体状況	租在「起き上がりけものにつかまれば可能」立ち上がり時に左膝疼痛あり。	(車いす付属品を含む)		
	屋内歩行はゆっくりだが、つたい歩きが可能。屋外移動は車いすを介助により使用。リハビリにて回復の可能性あり。	●特殊寝台		<b>V</b>
		(特殊寝台付属品を含む)		
		●じょく瘡予防用具		
	独居だが、同一敷地内に長女夫婦が居住。近隣に長男家族が居住。	●体位変換器		
冗談仏沈	長女、長男が交代で介護可能。今は排泄についてはポータブルトイレを利用している。入浴は、訪問入浴利用の週2回のみであ	●手すり		
(主な介護者含む)	る。特に上がりかまち段差の昇降は介助がないと難しい。	●スロープ		
		」●歩行器		
		●歩行補助つえ		
		●痴呆性老人徘徊感知機器		
		●移動用リフト		
	トイレで排泄させたい。入浴については訪問入浴を利用しつつ、休日はバスボードの利用で長男長女による介助入浴の負担の軽	(つり具の部分を除く)		
3	減を図る。	●腰掛便座		
住宅改修により、	通所介護への送り出し時も含めて、外出時の介護負担を軽減したい。  脱水に留意し、在宅生活を長くできるよう配慮する。長男長女の援助を受けることとするが、介護疲労に注意し、介護サービスの導	●特殊尿器		
利用者は日常生活を   どう変えたいか	脱水に留息し、住宅生品を安くできるよう配慮する。及为及女の援助を支げることでするが、外腹放力には思し、外腹ケーとつの手  入と通所介護・通所リハビリテーションの利用につなげていく。	●入浴補助用具		
とう変えたいか	八と通所が腰で通所ができず。  福祉用具と住宅改修を導入することにより、排泄の自立を第一目標とし、さらに介護者の希望である通所介護時や、休日の外出介	●簡易浴槽		
	福祉用具と住宅改修を導入することにより、排泄の自立を第一目標とし、さらに介護者の希望である通所介護時や、休日の外出介  ●  助時の負担軽減を図り、外出機会の増加を検討していく。	●移動用リフトのつり具部分		
	AND A SAME TANGET AND A SAME AND	●その他		
		( )		
		( )		

#### 住宅改修が必要な理由書(案) P2 (記入例②)

Ń

<P1の「住宅改修により、日常生活をどう変えたいか」を踏まえて、①改善しようとしている生活動作②具体的な困難な状況③改修目的・期待効果④改修項目 を具体的に記入してください。> ③ 改修目的・期待効果をチェックしたうえで、 ② ①の具体的な困難な状況(・・なので ①改善をしようと ④ 改修項目(改修箇所) 改修のコメント(・・することで・・が改善できる)を記入してください している生活動作 ➡ ・・・で困っている)を記入してください ☑ 手すりの設置 ▼ できなかったことをできる トイレまでの移動 ようにする ☑ トイレ出入り口の出入り 居室と廊下に3cmの段差を解消することで、安| 廊下の移動経路 移動はつたい歩きでなんとか可能。左膝に痛みが 全な歩行ができるようにしたい。 居室とトイレ (扉の開閉含む) 生ずることあり。居室から廊下に3cmの段差あり、 動作の容易性の確保 の動線には連続してつかまれるもの(手すり)が 便座への着座・車いす 段差の昇降が不安定。 トイレ内立ち座り用、衣服着脱用 □ 利用者の精神的負担や 便座への座位はつかまるものがないため困難。特 等からの移乗 泄 ドア開閉時のために手すり設置。 不安の軽減 に立ち上り動作に苦慮している。 ▼ 衣服の着脱 上がりかまち横壁面 トイレ内には、衣服の着脱及び便器への立ち座り 出入り口にもつかまるところがないので、扉の開閉 が 介護者の負担の軽減 □ 排泄時の姿勢保持 を容易にするための工夫をする。 動作が危なっかしい。 □ その他 □ 後始末 玄関扉付近の内外壁面 □ その他( できなかったことをできる 2 浴室までの移動 ようにする □ 衣服の着脱 2 段差の解消 転倒等の防止、安全の確保 □ 浴室出入り口の出入り ■作の容易性の確保 (扉の開閉含む) 廊下3cmかさ上げ 居室から浴室までの移動は「排泄」と同じ。 □ 利用者の精神的負担や 入 | □ 浴室内での移動 「居室から浴室までの移動は「排泄」と同じ。 バスボードを利用して安定して浴槽に入れるよう 浴 | | 浴槽の出入り ・浴槽をまたぐ際に転倒の不安があり危険。 不安の軽減 にする。 上がりかまちに踏み台設置 介護者の負担の軽減 □ 洗い場での姿勢保持 □ その他 (洗体・洗髪含む) □ 浴槽内での姿勢保持 □ 引き戸等への扉の取替え □ その他( □ 出入り口までの屋内移動 ようにする 上がりかまちの昇降 転倒等の防止、安全の確保 □ 車いす等、装具の着脱 上がりかまちに40cmの段差があり、介助がないと 上がりかまちに縦手すりと踏み台設置により、上 動作の容易性の確保 □ 腹物の着脱 がりかまちの昇降を一人で行えるようにする。 **!昇降できないので、困っている。** □ 便器の取替え □ 利用者の精神的負担や ☑ 出入り口の出入り 玄関扉の内と外の壁面に手すりを取りつけること 玄関の扉の開閉時につかまるところがないので、 不安の軽減 (扉の開閉含む) により、扉の開閉を安定して行えるようにする。 動作が不安定。 ☑ 介護者の負担の軽減 □ 出入り口から敷地外までの □ その他 屋外移動 □ その他( □ 滑り防止等のための床材の変更 **□** できなかったことをできる ようにする □ 転倒等の防止、安全の確保 ■ 動作の容易性の確保 □ 利用者の精神的負担や こ その他 不安の軽減 □ 介護者の負担の軽減 □ その他

# -27-

# 住宅改修が必要な理由書(案) P1 (記入例③)

<₹	基本情報>										
	被保険者番号	000000	年齢	60 扇	荗	生年月日	明治 大正 00年0 昭和	月〇日	性別	当男	口女
利用者	被保険者氏名	住宅 太郎		<b>養認定</b> に○)	要	支援・	要介護 ①・	2 •	3	• 4	• 5
	住所	〇〇市〇〇区〇〇町4	-5-6								

作成者	現地確認日	平成〇〇年〇月〇日	作成日	平成〇〇年〇月〇日	
	所属事業所		○○ケアプランセンター		
	資格 (作成者が介護支 員でないとき				
	氏名	00 00	00 00		
	連絡先	00-000	00-0000-0000		

<総合的状況>								
			列用状》					
	高血圧症の診断であるが、全身の筋力低下と立位・歩行のバランス低下がある。 移動は屋内ではつたい歩き、屋外では杖歩行。転倒の経験が数回ある。 ADLは更衣のみ一部介助で他は自立しているが、不調時は見守り、声かけが必要。	改修後の想定	改修前	改修後				
		●車いす						
利用者の身体状況		(車いす付属品を含む)						
		●特殊寝台						
		(特殊寝台付属品を含む)						
		●じょく瘡予防用具						
A =# 15 NO	妻と二人暮らし。妻は高血圧症だが健常である。 時々娘が遠方より様子を見に来る。	●体位変換器						
		●手すり		<b>Y</b>				
(主な介護者含む)		●スロープ						
		●歩行器						
	自宅敷地内で転倒を繰り返しており、外出意欲が低下している。自宅内でも横になっていることが多く、活動が低下傾向にある。 昔から囲碁クラブへの参加のためよく外出をしていたので、動線を整備することで安全性を確保し、身体的・精神的負担の軽減を 図り、生活に活気をもたせ、現状の身体機能を維持したい。	●歩行補助つえ	<b>V</b>	2				
		●痴呆性老人徘徊感知機器						
		●移動用リフト						
		(つり具の部分を除く)						
		●腰掛便座						
住宅改修により、		●特殊尿器						
利用者は日常生活を   どう変えたいか		●入浴補助用具						
してう変えたいが		●簡易浴槽						
		●移動用リフトのつり具部分						
		●その他						
		( )						
		( )						

#### 住宅改修が必要な理由書(案) P2 (記入例③)

83

<P1の「住宅改修により、日常生活をどう変えたいか」を踏まえて、①改善しようとしている生活動作②具体的な困難な状況③改修目的・期待効果④改修項目 を具体的に記入してください。> ② ①の具体的な困難な状況(・・なので ③ 改修目的・期待効果をチェックしたうえで、 ①改善をしようと ④ 改修項目(改修箇所) 改修のコメント(・・することで・・が改善できる)を記入してください している生活動作 ➡ ··で困っている)を記入してください □ できなかったことをできる ☑ 手すりの設置 □ トイレまでの移動 ようにする ┃ トイレ出入り口の出入り 玄関ポーチから導路までの連続手すり □ 転倒等の防止、安全の確保 (扉の開閉含む) □ 動作の容易性の確保 □ 便座への着座・車いす □ 利用者の精神的負担や 等からの移乗 不安の軽減 □ 衣服の着脱 □ 介護者の負担の軽減 □排泄時の姿勢保持 □ その他 □ 後始末 □ その他( できなかったことをできる □ 浴室までの移動 □ 衣服の羞脱 ようにする ▶ 段差の解消 転倒等の防止、安全の確保 │□ 浴室出入り口の出入り ■ 動作の容易性の確保 (扉の開閉含む) 25cm2段を10cm5段の階段に変更 □ 利用者の精神的負担や 浴 口 浴槽の出入り 不安の軽減 □ 介護者の負担の軽減 │ □ 洗い場での姿勢保持 □ その他 (洗体・洗髪含む) □ 浴槽内での姿勢保持 □ 引き戸等への扉の取替え □ その他( □ できなかったことをできる □ 出入り口までの屋内移動 ようにする □ 上がりかまちの昇降 □ 車いす等、装具の着脱 敷地外と玄関との高低差が大きく、駐車場スペース 動作の容易性の確保 段差を5段の階段にし、玄関から敷地外まで連続 □ 履物の着脱 !を兼ねたスロープと25cmの段差2段を通っての動線 した手すりを設置することで、安全性が向上し、 □ 便器の取替え ☑ 利用者の精神的負担や □出入り口の出入り で手すりもないため、不安定で転倒の危険性が高 本人の身体的・精神的負担も軽減される。 不安の軽減 (扉の関閉含む) □ 介護者の負担の軽減 | ☑ 出入り口から敷地外までの □その他 屋外移動 □ その他( □ できなかったことをできる □ 滑り防止等のための床材の変更 ようにする □ 転倒等の防止、安全の確保 □ 動作の容易性の確保 □ 利用者の精神的負担や □その他 不安の軽減 □ 介護者の負担の軽減 □ その他